

光市子ども・子育て支援に関する市民アンケート の調査結果の概要について

令和元年 8 月

1 調査方法

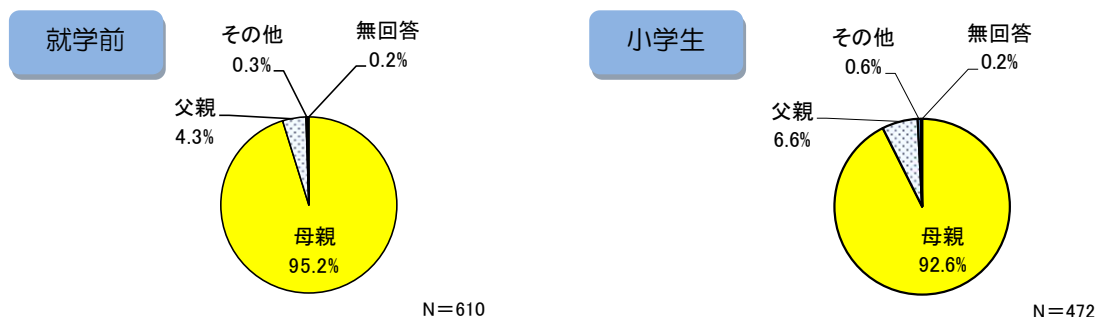
調査対象者	①小学校就学前児童の保護者 1,500 人 ②小学生の保護者 1,200 人
調査方法	郵送による配付、回収
調査時期	平成 30 年 11 月 15 日～12 月 10 日
調査票回収数	①小学校就学前児童の保護者 610 件 (40.7%) ②小学生の保護者 472 件 (39.3%)

2 調査の結果概要

(1) 家族の状況など子どもをめぐる環境について

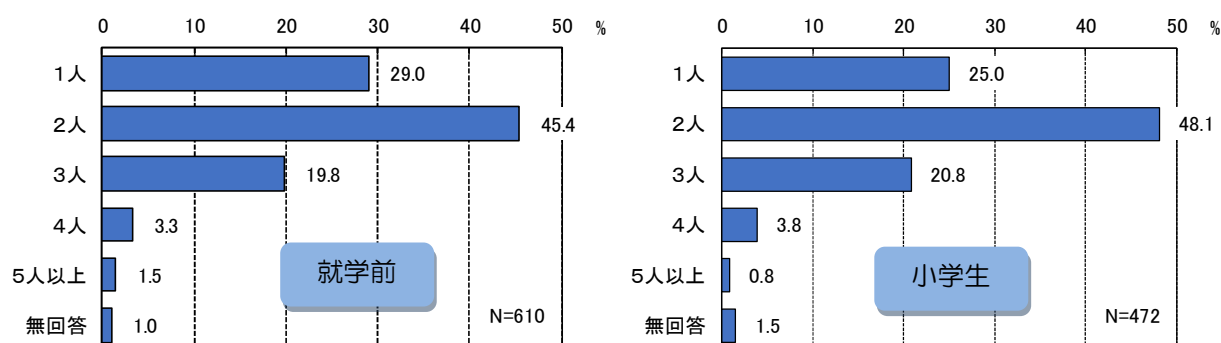
①アンケートの回答者

小学校就学前児童の保護者（以下、就学前という。）、小学生の保護者（以下、小学生という。）とともに、「母親」が大半を占めています。



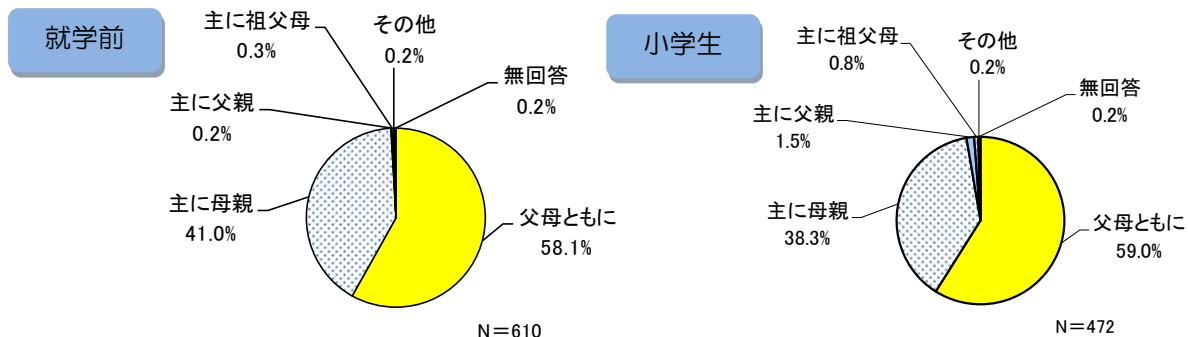
②子どもの人数

就学前、小学生ともに、「2 人」が最も高くなっています。



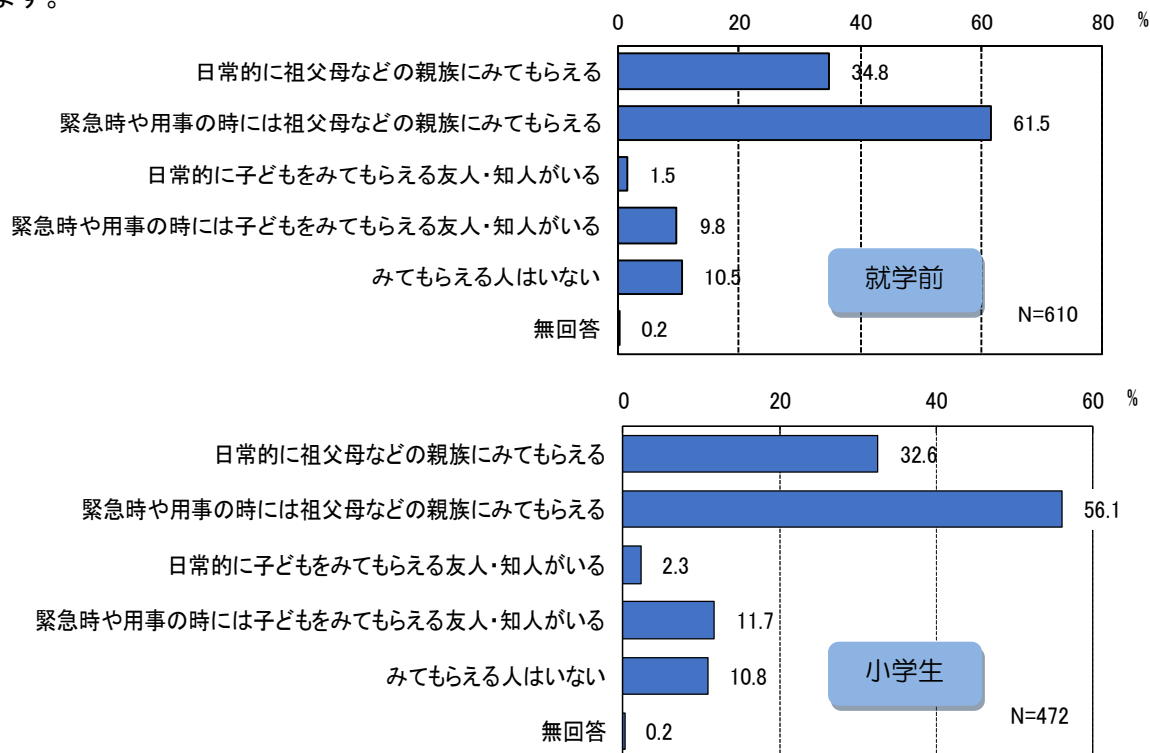
③主に子育て（教育を含む）をしている人

就学前、小学生ともに、「父母ともに」が5割以上と最も高く、次いで「主に母親」が4割程度となっています。



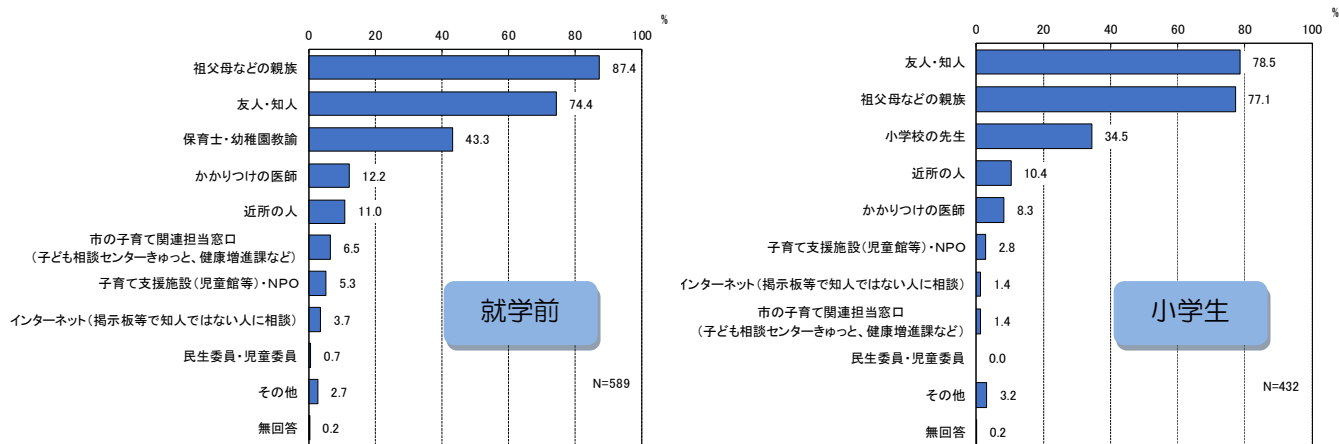
④日ごろ、子どもをみてもらえる人

就学前、小学生ともに、「緊急時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が5割以上で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が3割以上で続いています。



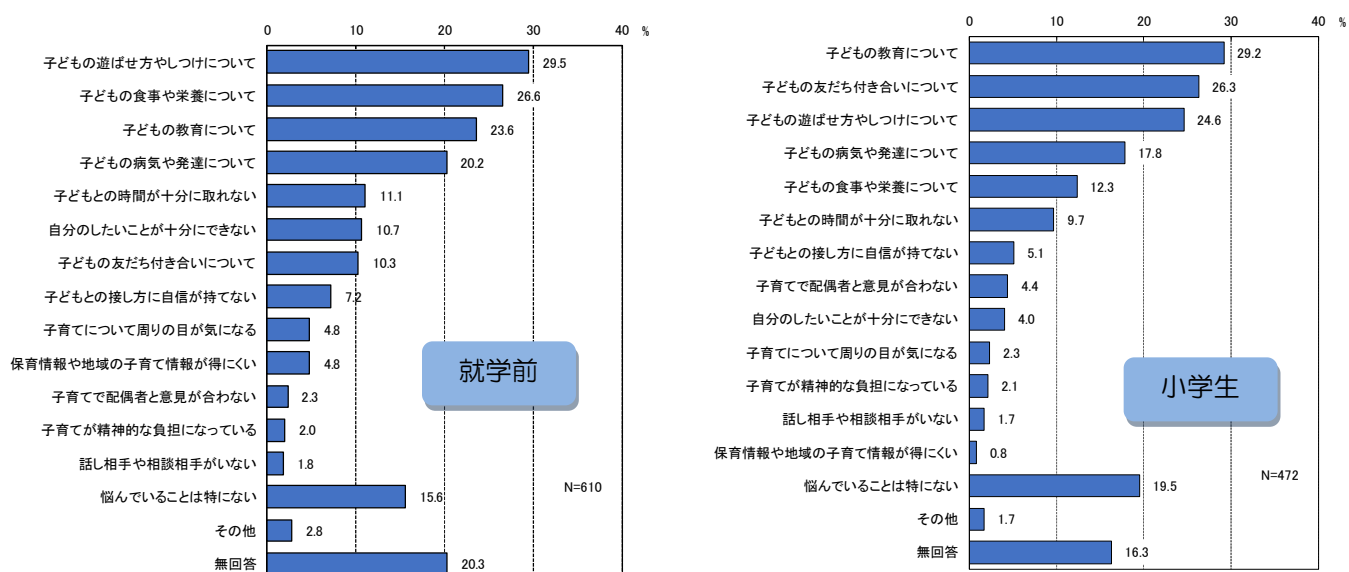
⑤子育ての相談先

就学前では「祖父母などの親族」が87.4%で最も高くなっていますが、小学生では、「友人・知人」が78.5%と最も高くなっています。



⑥子育てに関する悩み

就学前では、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が29.5%で最も高くなっていますが、小学では、「子どもの教育について」が29.2%で最も高くなっています。

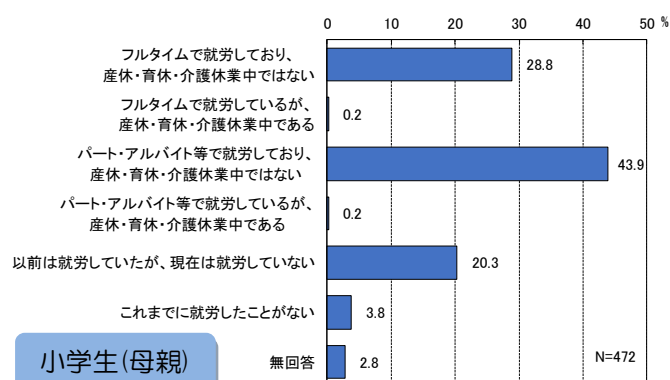
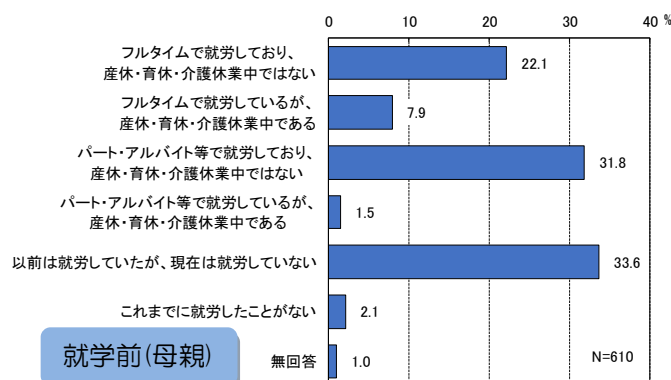


(2) 保護者の就労状況について

①現在の父母の就労状況

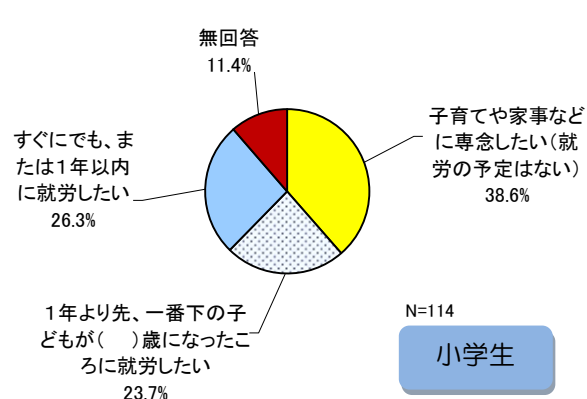
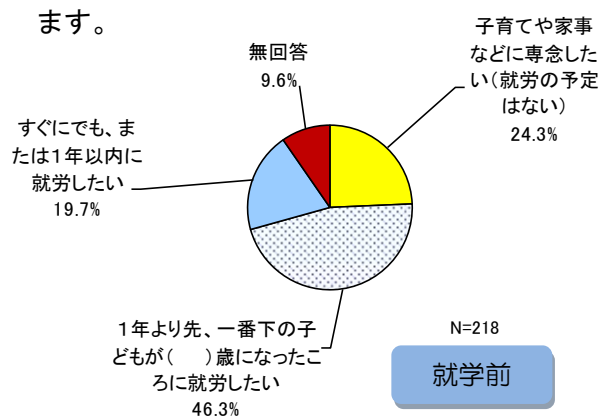
母親の就労状況は、就学前では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が33.6%で最も高くなっています。小学生では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.9%で最も高くなっています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」がほとんどを占めています。(グラフ省略)

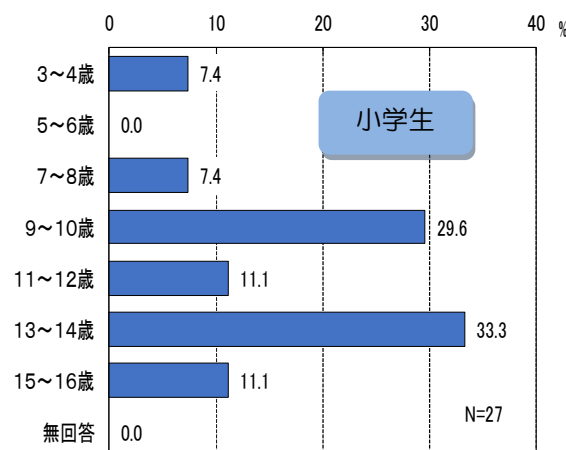
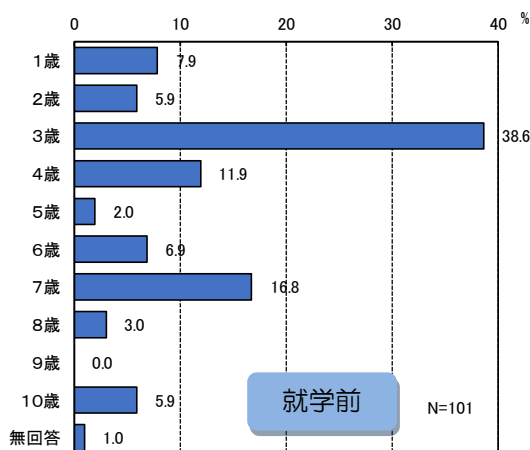


②母親の就労希望

現在就労していない母親について、就学前、小学生ともに半数以上で将来的な就労希望をもっています。



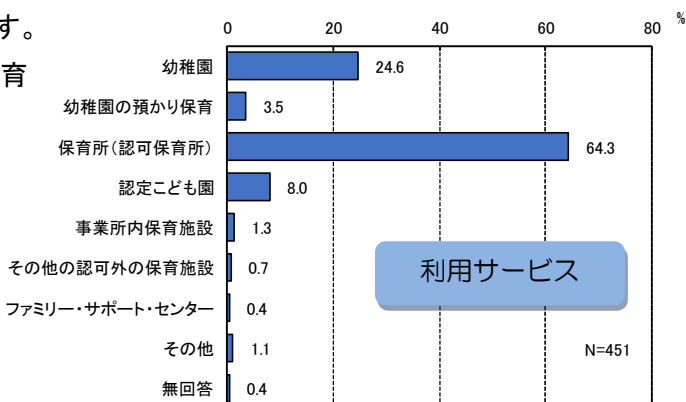
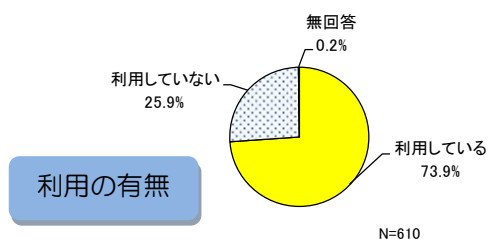
【1年より先の就労希望者が希望する時期(一番下の子どもの年齢)】



(3) 幼稚園や保育所などの利用について

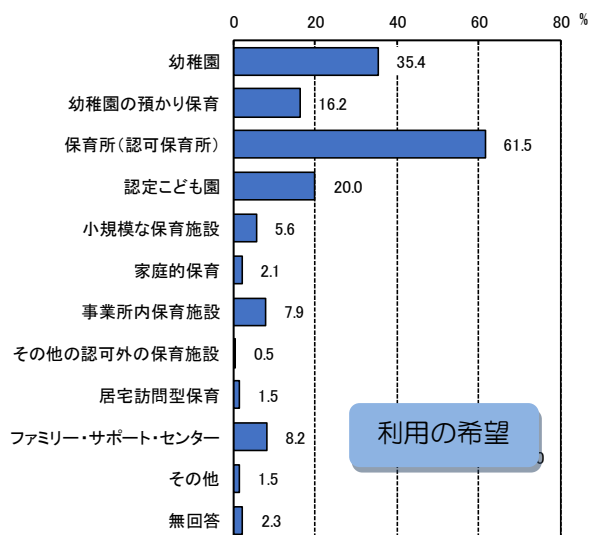
① 平日の定期的な利用状況（就学前のみの設問）

「利用している」が73.9%を占めています。
利用しているサービスは、「保育所（認可保育所）」が64.3%で最も高くなっています。



② 平日の定期的な利用の希望（就学前のみの設問）

「保育所（認可保育所）」が61.5%で最も高くなっています。次いで「幼稚園」が35.4%となっており、現在の利用状況に比べると、「幼稚園」と「認定こども園」の割合が少し増加しています。現在幼稚園や保育所などを利用していない人の利用希望が多いことがうかがえます。

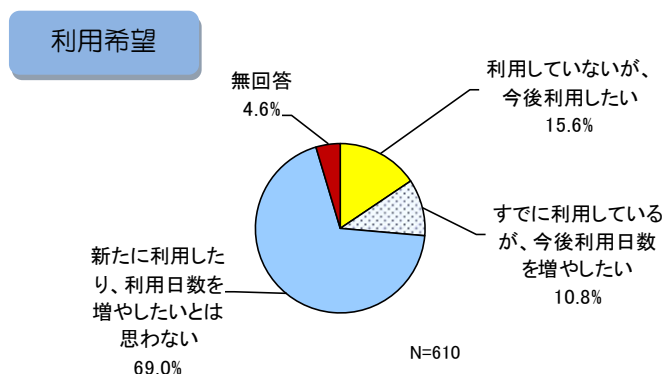
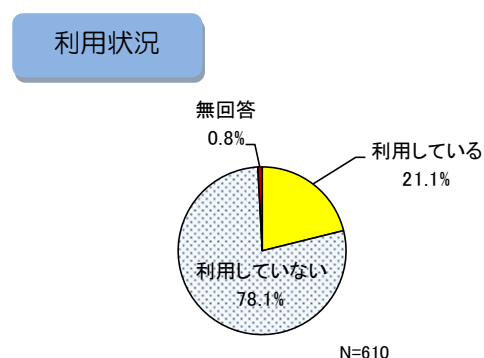


(4) 地域の子育て支援事業の利用について

① チャイベビステーションの利用状況と今後の希望（就学前のみの設問）

現在は、「利用していない」が78.1%を占めています。

今後は、「利用していないが、今後利用したい」が15.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.8%となっています。

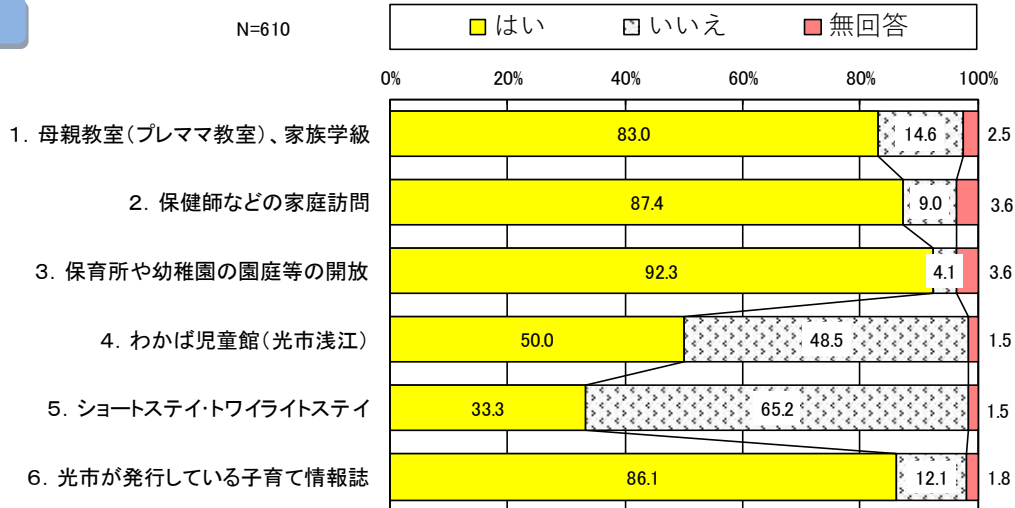


②その他の事業の利用状況と今後の利用意向（就学前のみの設問）

各事業の認知度、利用状況、今後の利用意向は下記のとおりです。

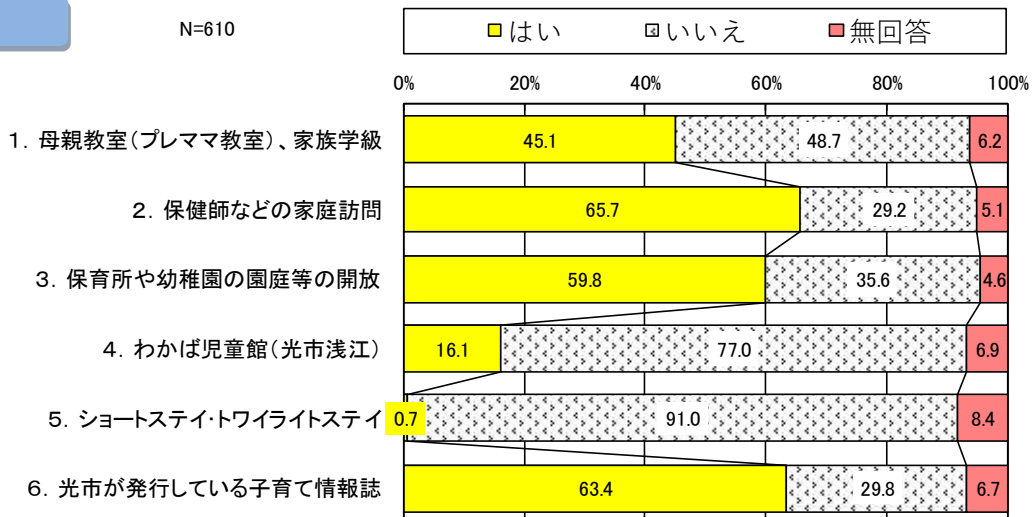
認知度

N=610



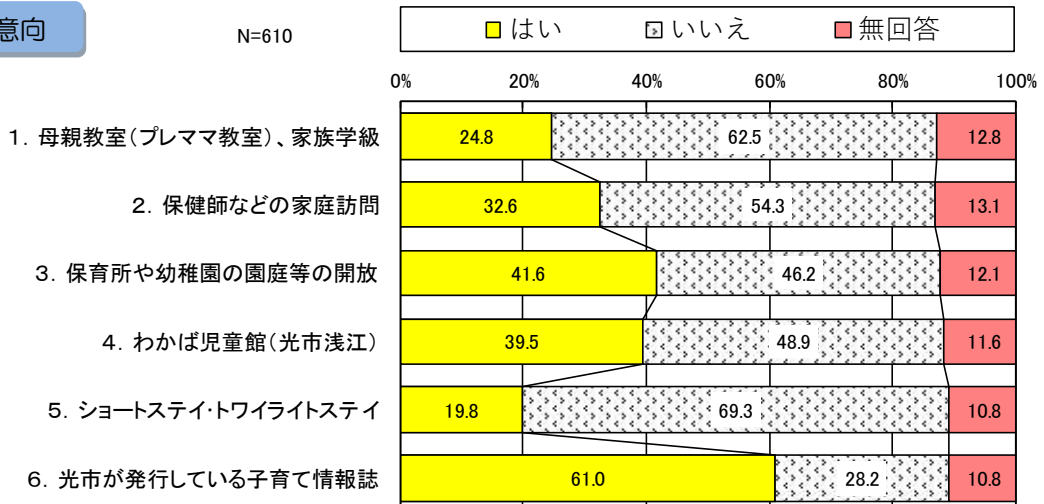
利用状況

N=610



今後の利用意向

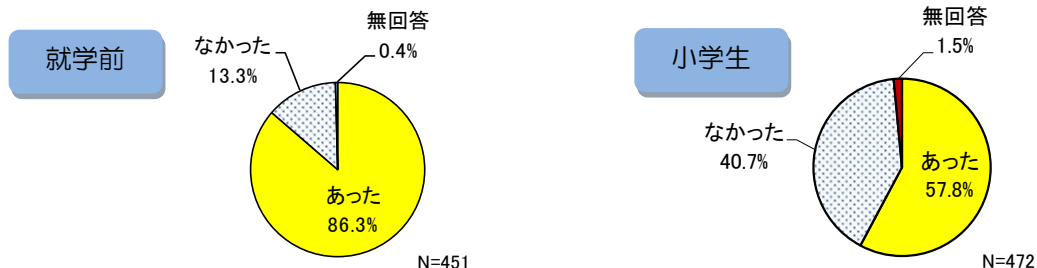
N=610



(5) 子どもが病気の際の対応について

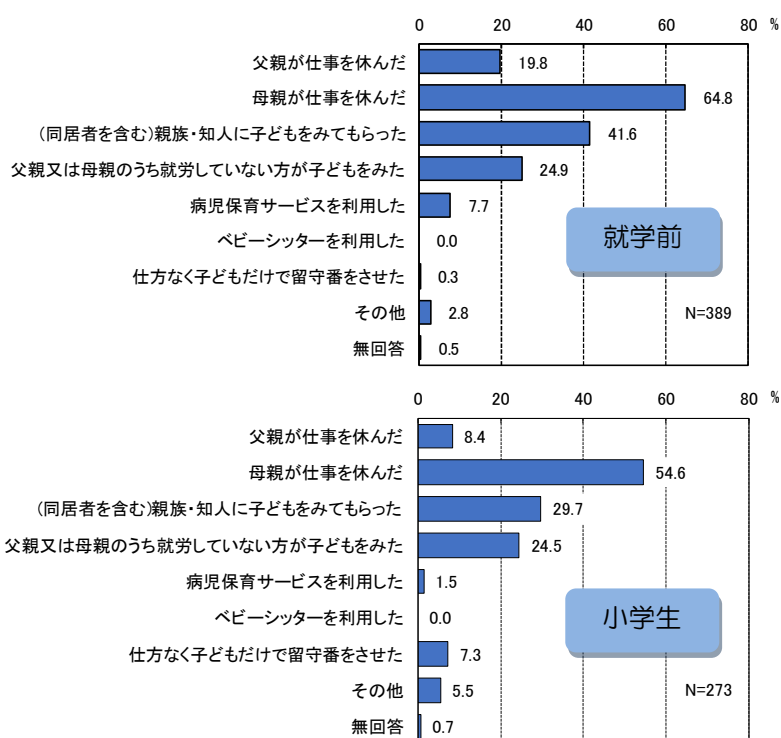
① 病気やケガで幼稚園、保育所や小学校を休んだこと（この１年間）

就学前は、「あった」が 86.3% を占めており、小学生は、「あった」が 57.8% を占めています。



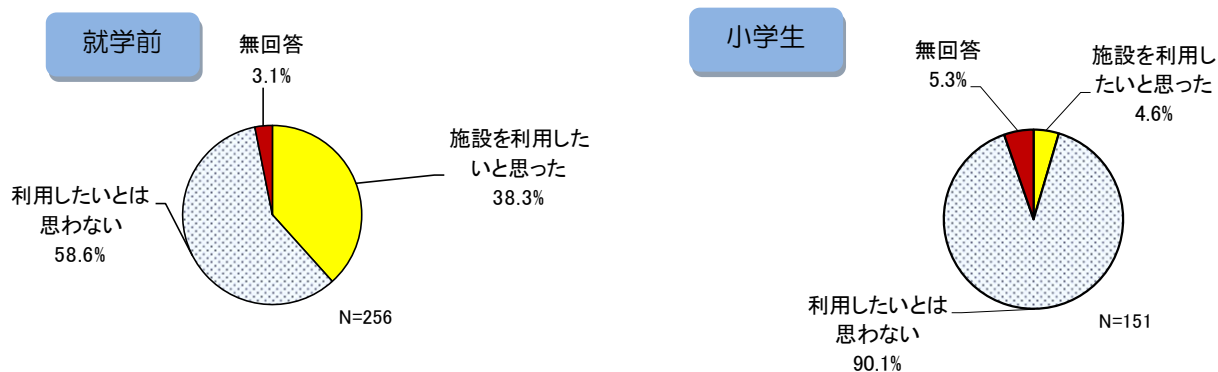
② 幼稚園、保育所や小学校を休んだときの対応（この１年間）

就学前、小学生ともに「母親が仕事を休んだ」が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が続いています。



③ 病児保育施設の利用希望

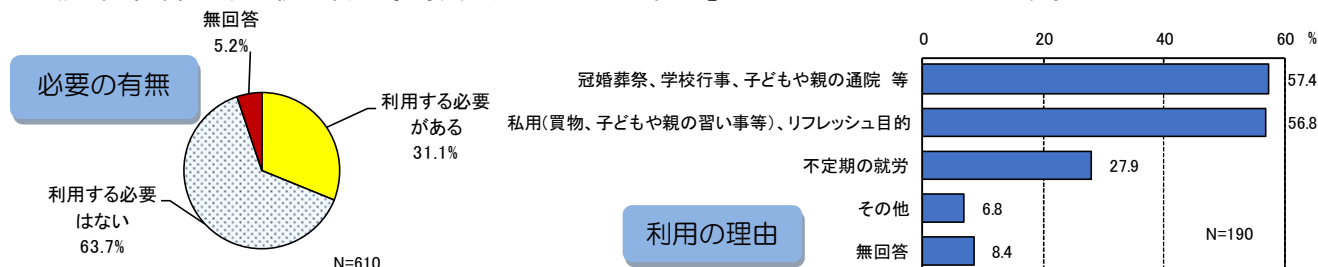
就学前では、「利用したい」が 38.3%、小学生では 4.6% でした。



(6) 一時預かりなどの利用について

①子どもを一時的にみてもらふ事業の利用必要性（就学前のみの設問）

「利用する必要がある」は、31.1%となっています。利用する理由は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院 等」が57.4%で最も高くなっており、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が56.8%となっています。

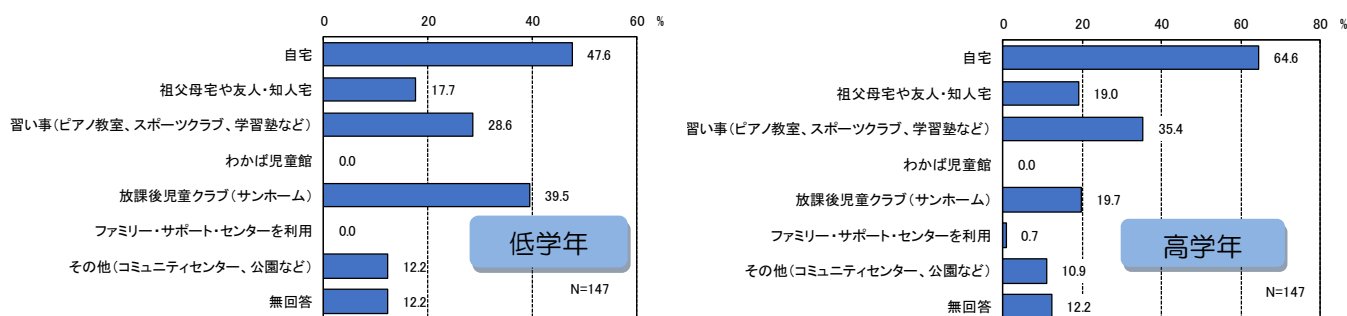


(7) 小学校の放課後の過ごし方について

①どのような場所で過ごさせたいか（就学前の保護者の場合）

小学校低学年（1～3年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が47.6%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」が39.5%で続いています。

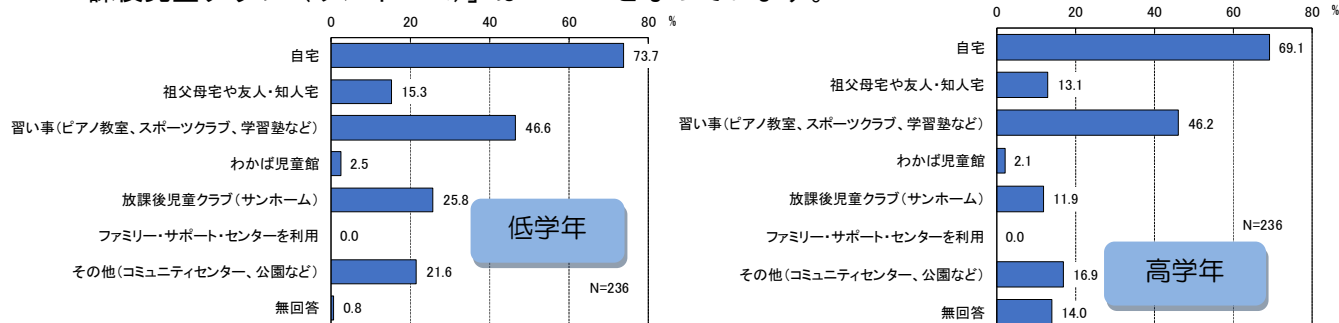
小学校高学年（4～6年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が64.6%で突出しています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は19.7%となっています。



②どのような場所で過ごさせたいか（小学生低学年の保護者の場合）

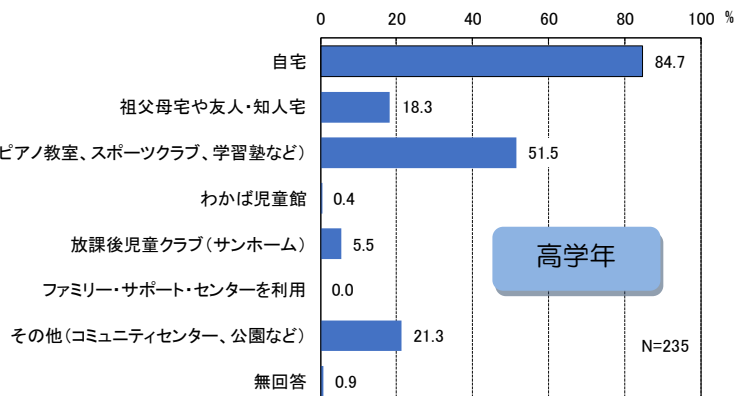
小学校低学年（1～3年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が73.7%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は25.8%となっています。

小学校高学年（4～6年生）の間の過ごさせ方では、「自宅」が69.1%で最も高くなっています。「放課後児童クラブ（サンホーム）」は11.9%となっています。



③どのような場所で過ごさせたいか（小学生高学年の保護者の場合）

小学校高学年（4～6年生）の間の
 過ごさせ方では、「自宅」が84.7%で
 最も高くなっています。
 「放課後児童クラブ（サンホーム）」
 は5.5%となっています。



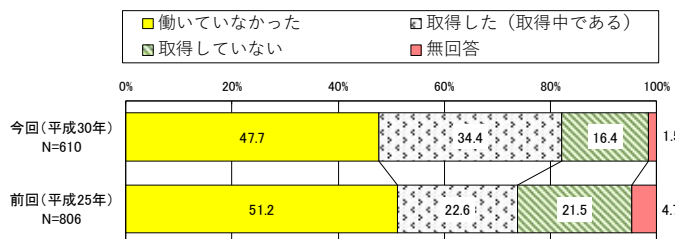
(8) 育児休業制度について

①育児休業制度を利用したか

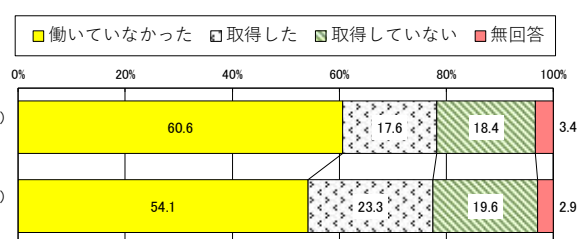
就学前の育児休業を取得した割合は、母親で34.4%、父親で3.1%となっており、前回調査より母親、父親ともに取得率が高くなっています。

【母親】

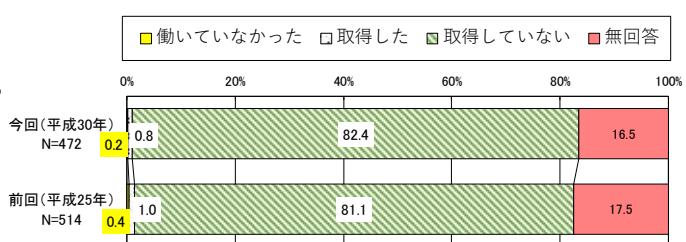
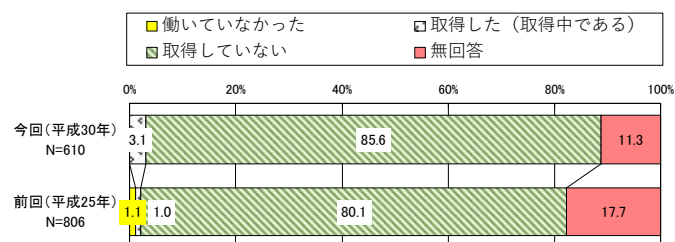
就学前



小学生

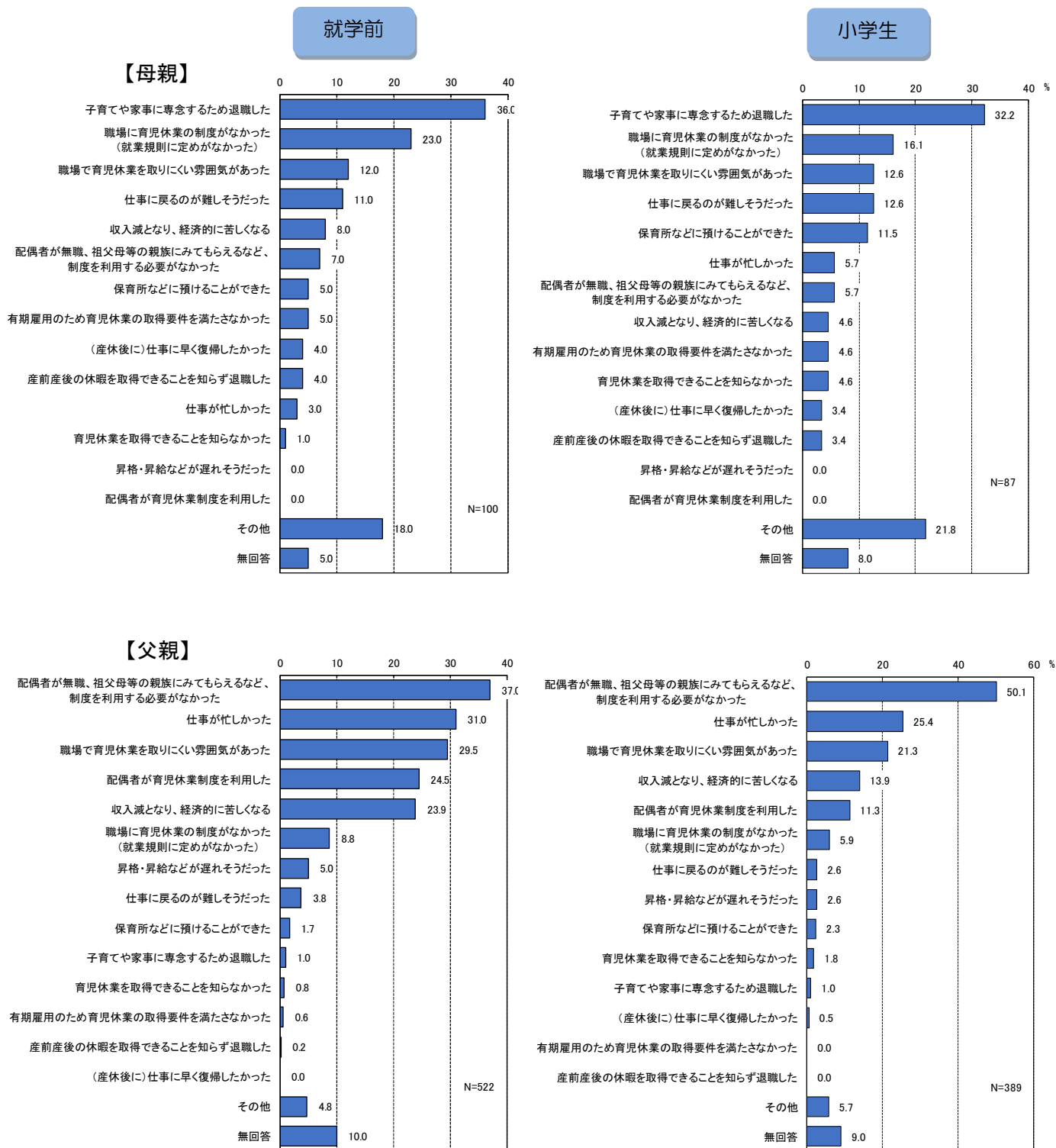


【父親】



②育児休業制度を利用しなかった理由

就学前、小学生とも、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が最も高くなっています。次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が続いており、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も高くなっています。

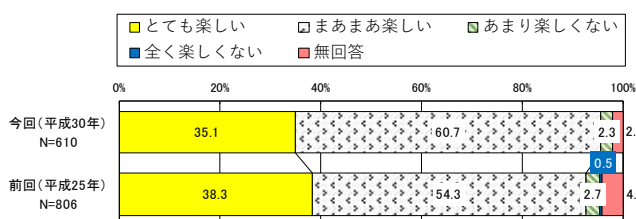


(9) 日常の子育てなどについて

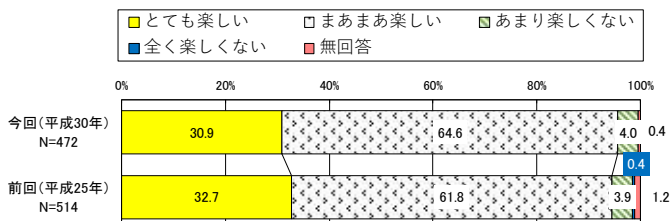
①子育ては楽しいか

就学前、小学生とも、「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」と回答した割合が9割を超えています。

就学前



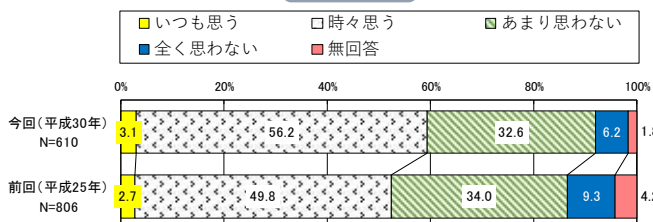
小学生



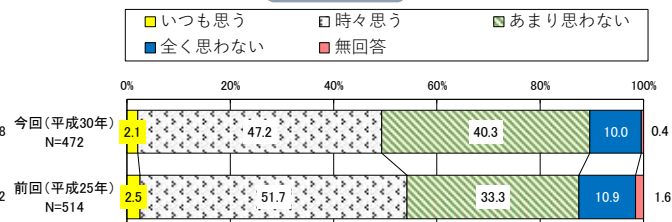
②子育てが辛いと思うこと

就学前は、「いつも思う」または「時々思う」と回答した割合が5割を超えています。

就学前



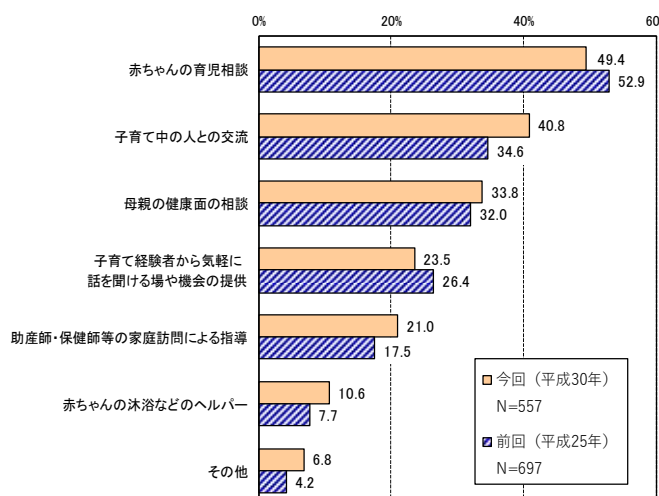
小学生



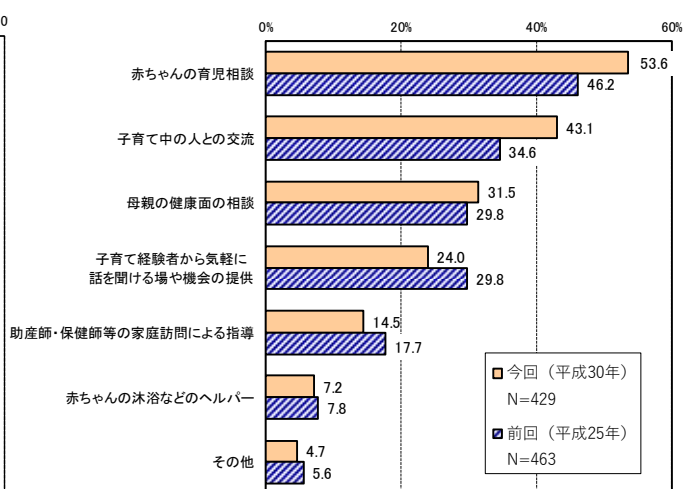
③妊娠中や出産後のサポートとして重要だと思うサービス（女性のみの設問）

「赤ちゃんの育児相談」が最も高く、次いで「子育て中の人との交流」となっています。

就学前



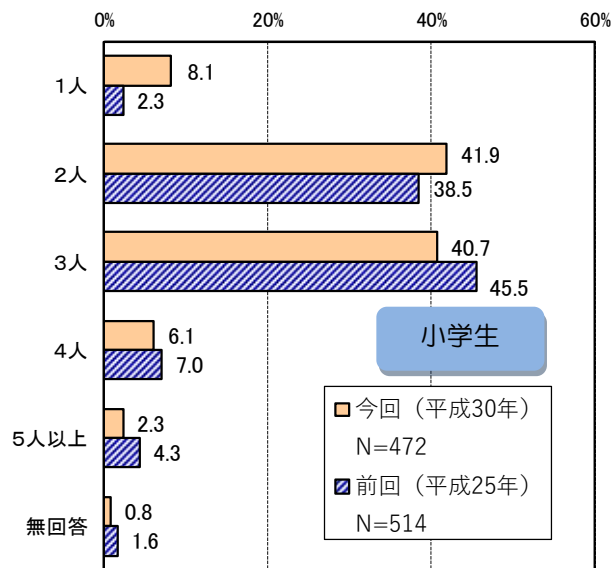
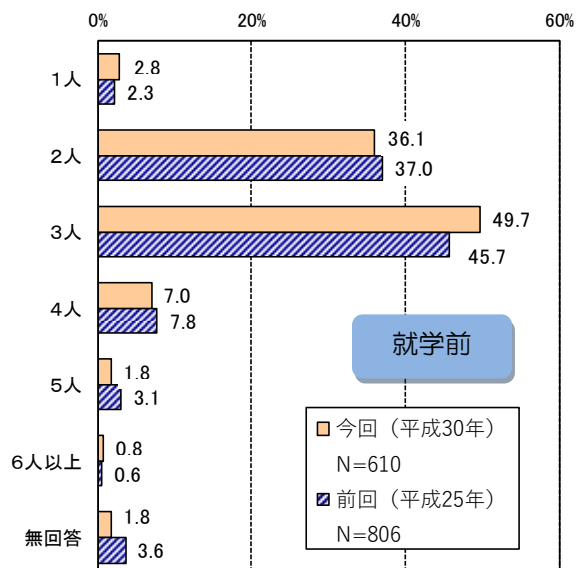
小学生



(10) 子どもを何人育てたいかについて

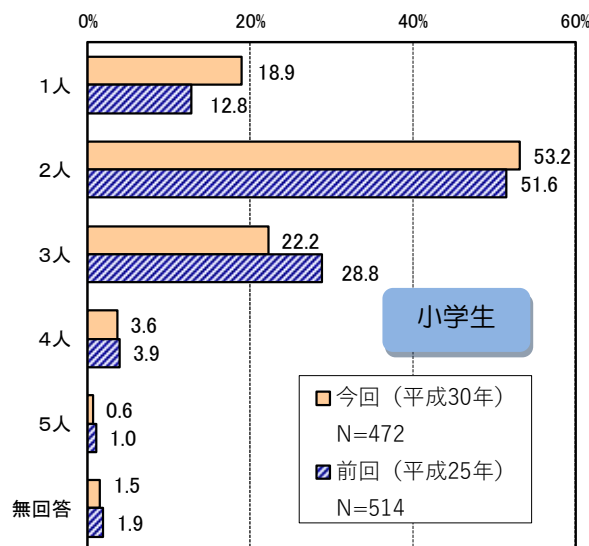
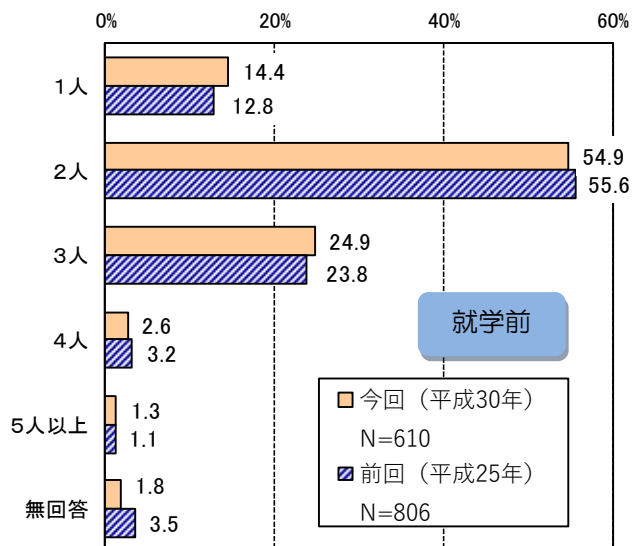
①何人育てたいか（理想）

就学前は「3人」が最も高く、次いで「2人」となっています。小学生は「2人」が最も高く、次いで「3人」となっています。



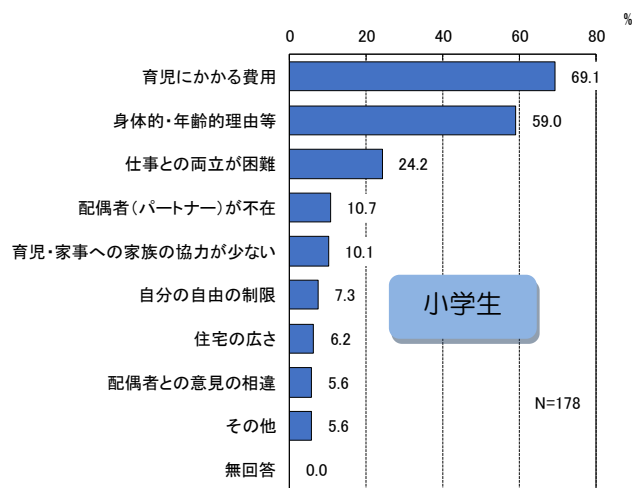
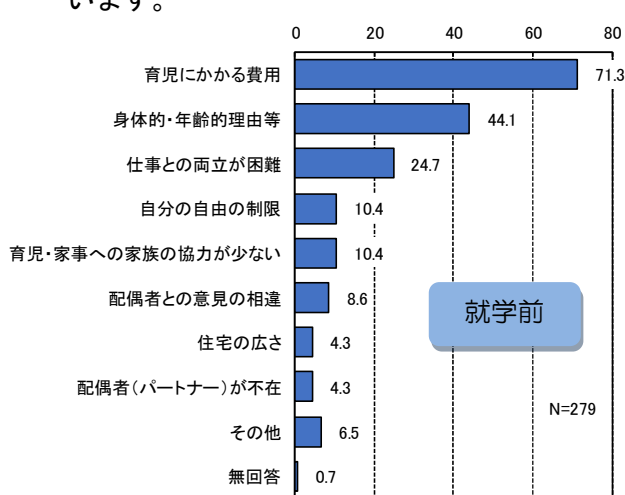
②何人育てることができるか（現実）

就学前、小学生とも、①の何人育てたいか（理想）の回答と比べ「3人」の割合が下がり、「2人」と「1人」の割合が増えています。



③理想の人数を育てることができない理由

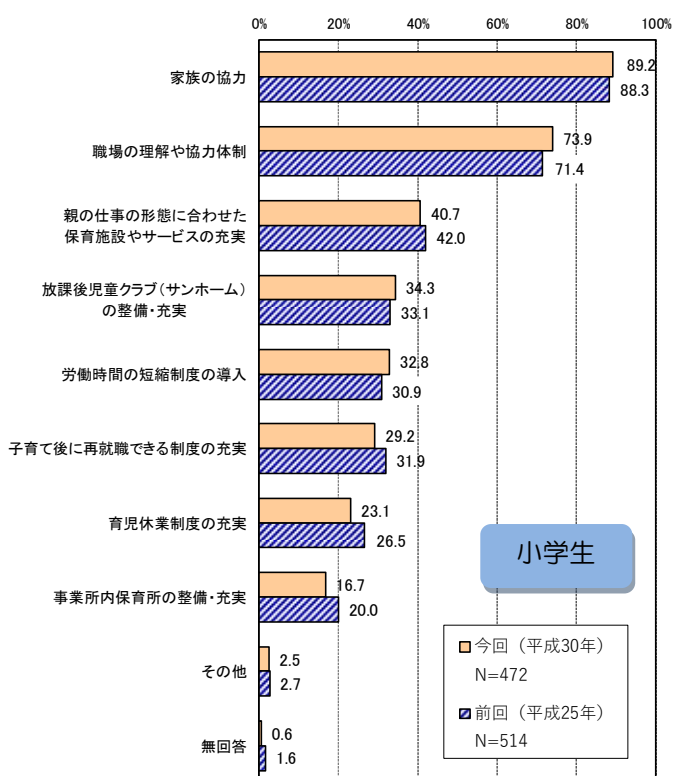
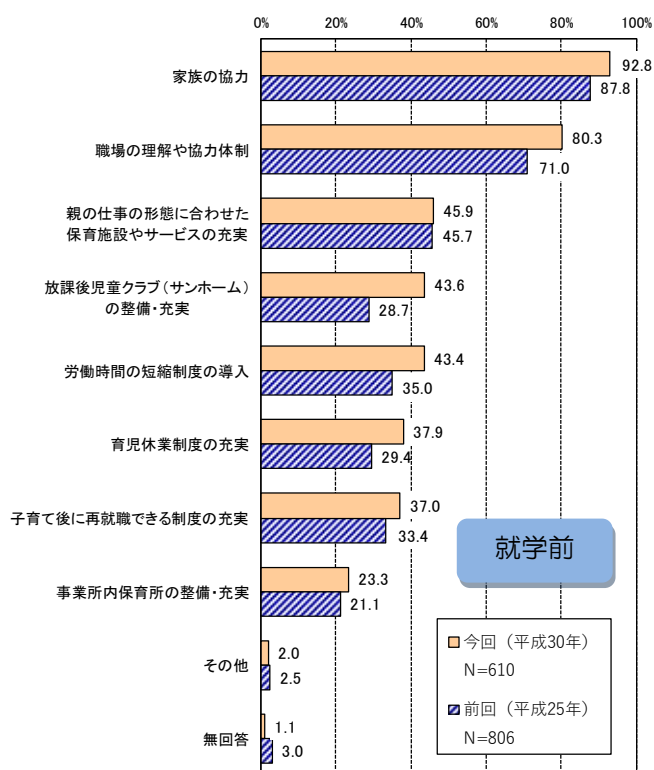
就学前、小学生とも「育児にかかる費用」が最も高く、次いで「身体的・年齢的理由等」となっています。



(11) 仕事と子育ての両立について

①仕事と子育ての両立に必要なこと

就学前、小学生とも「家族の協力」が最も高く、次いで「職場の理解や協力体制」となっています。

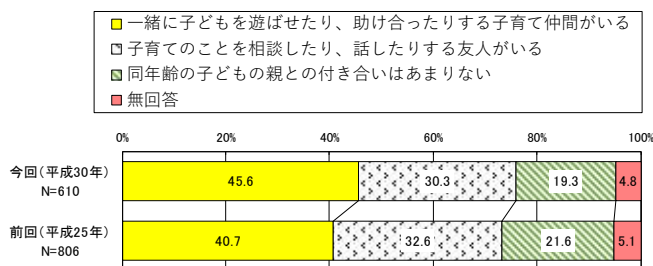


(12) 地域での子育てなどについて

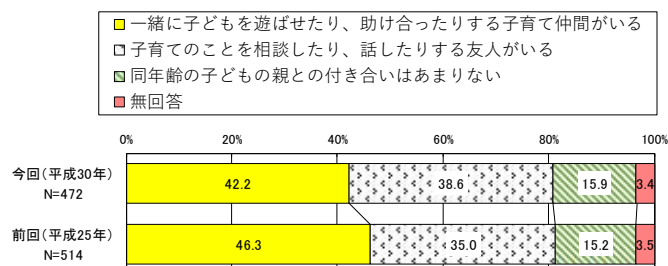
①子育ての仲間について

「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」または「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」と回答した割合は、就学前で 75.9%、小学生で 80.8%あります。

就学前



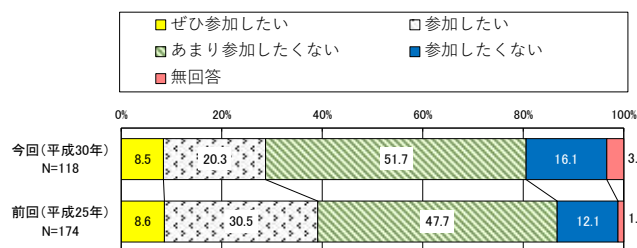
小学生



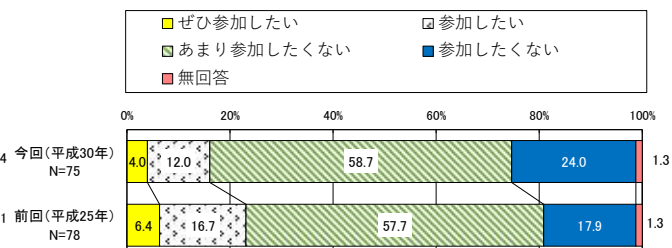
②子育ての仲間作りの機会があれば参加したいか（付き合いはあまりないと答えた方へのみの設問）

就学前、小学生ともに「あまり参加したくない」の割合が高くなっています。

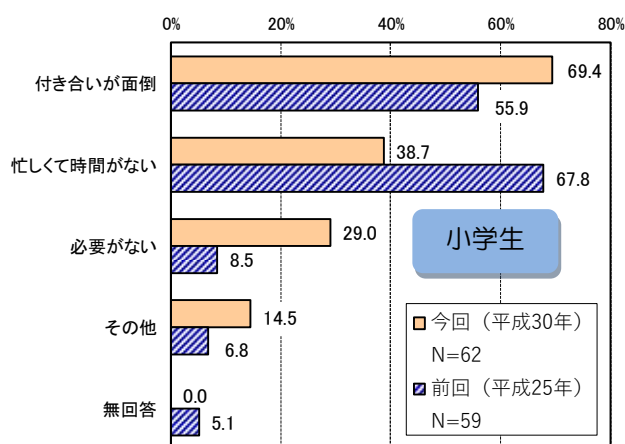
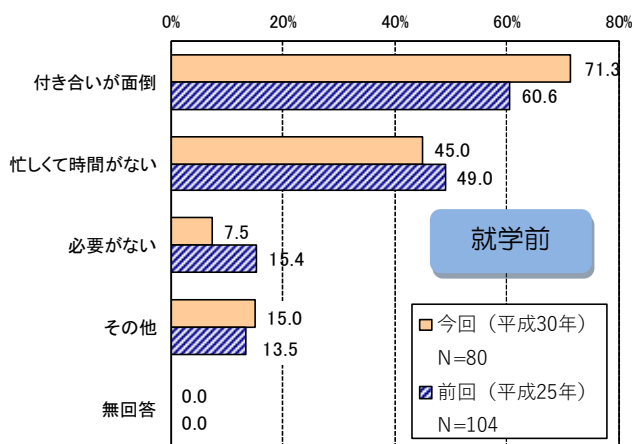
就学前



小学生

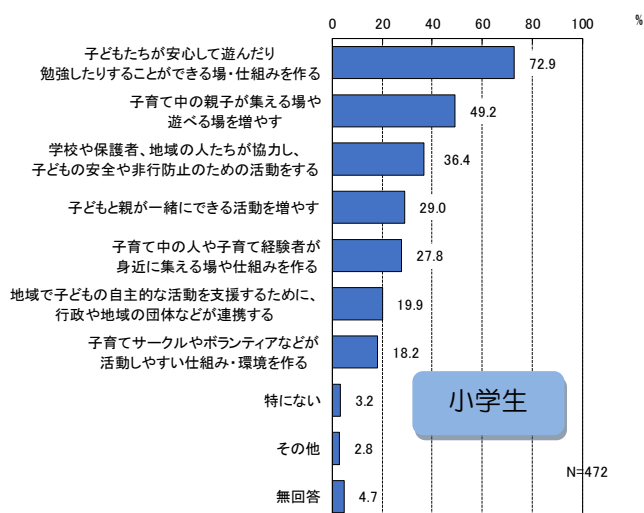
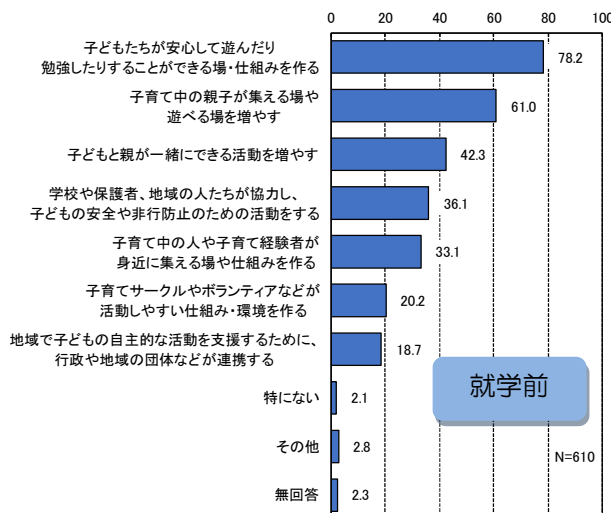


【参考】「参加したくない」または「あまり参加したくない」の理由



③安心して子育てするための地域での取り組み

就学前、小学生とも「子どもたちが安心して遊んだり勉強したりすることができる場・仕組みを作る」が最も高く、次いで「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」となっています。

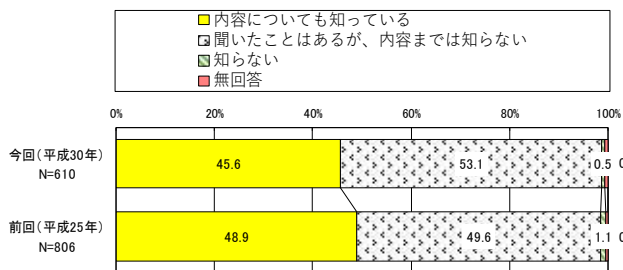


(13) おっばい都市宣言について

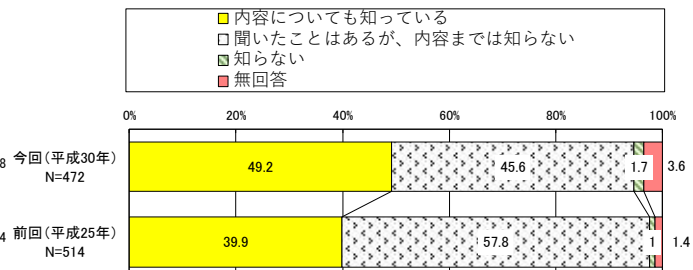
①認知度

就学前は「聞いたことはあるが、内容までは知らない」、小学生は「内容についても知っている」が最も高くなっています。

就学前



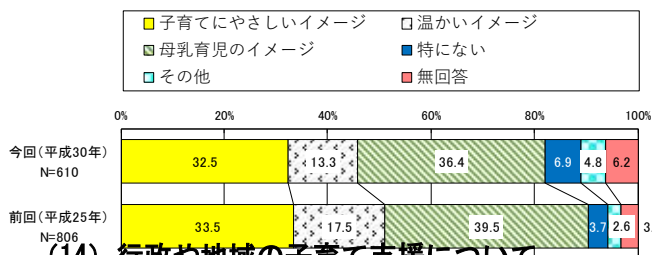
小学生



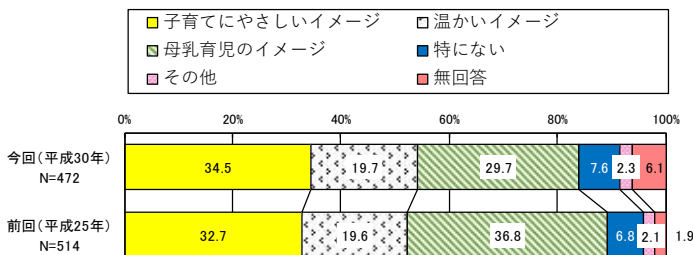
②イメージ

就学前は「母乳育児のイメージ」、小学生は「子育てにやさしいイメージ」が最も高くなっています。

就学前



小学生

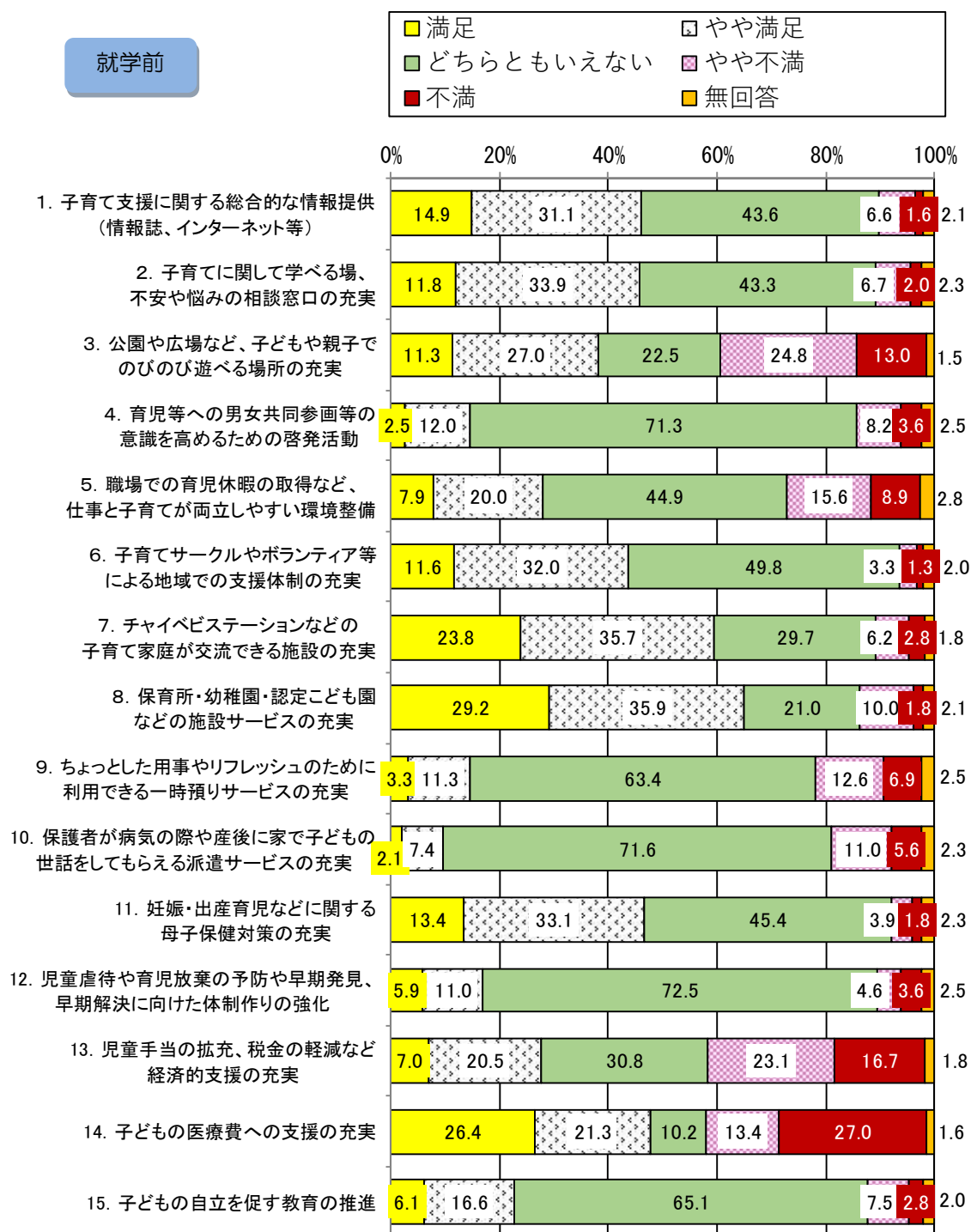


(14) 行政や地域の子育て支援について

①15 項目の取組みに対する満足度

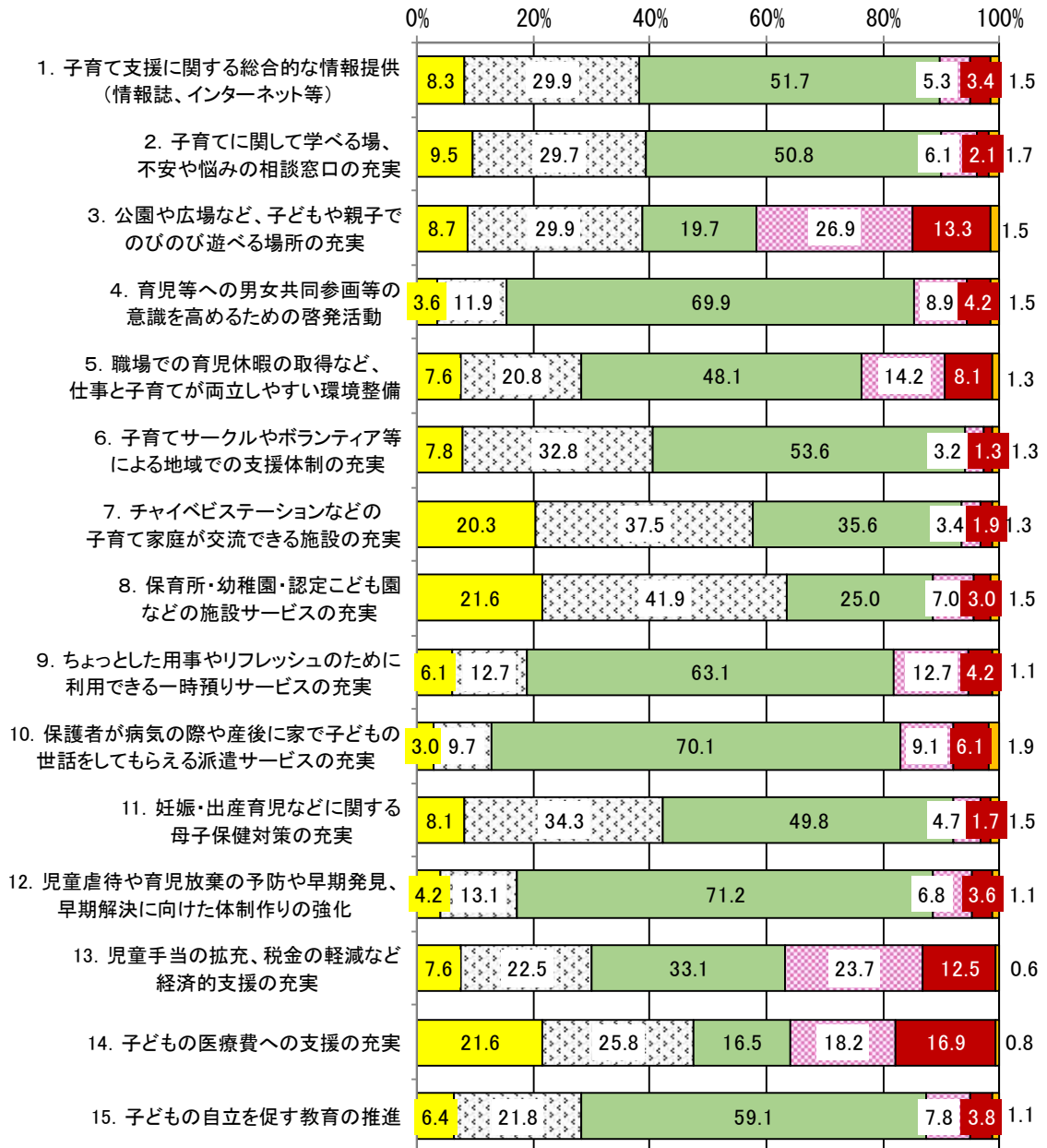
満足度が高かったのは「8. 保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」や「7. チャイベビステーションなどの子育て家庭が交流できる施設の充実」となっています。「14. 子どもの医療費への支援の充実」は満足度が就学前 47.7%、小学生 47.4%と高い一方で、不満度も就学前 40.4%、小学生 35.1%と高いことがわかります。

就学前



小学生

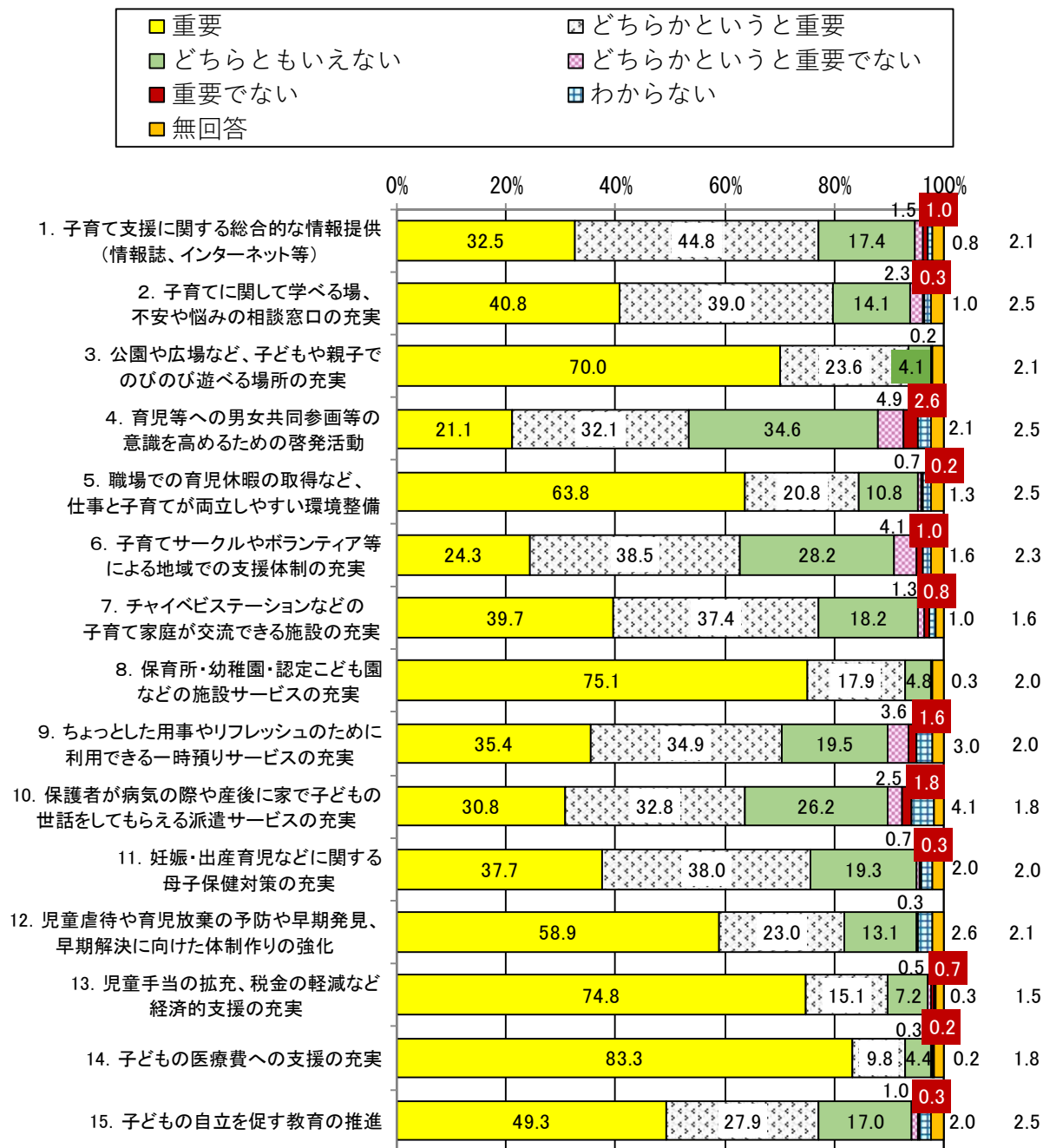
■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



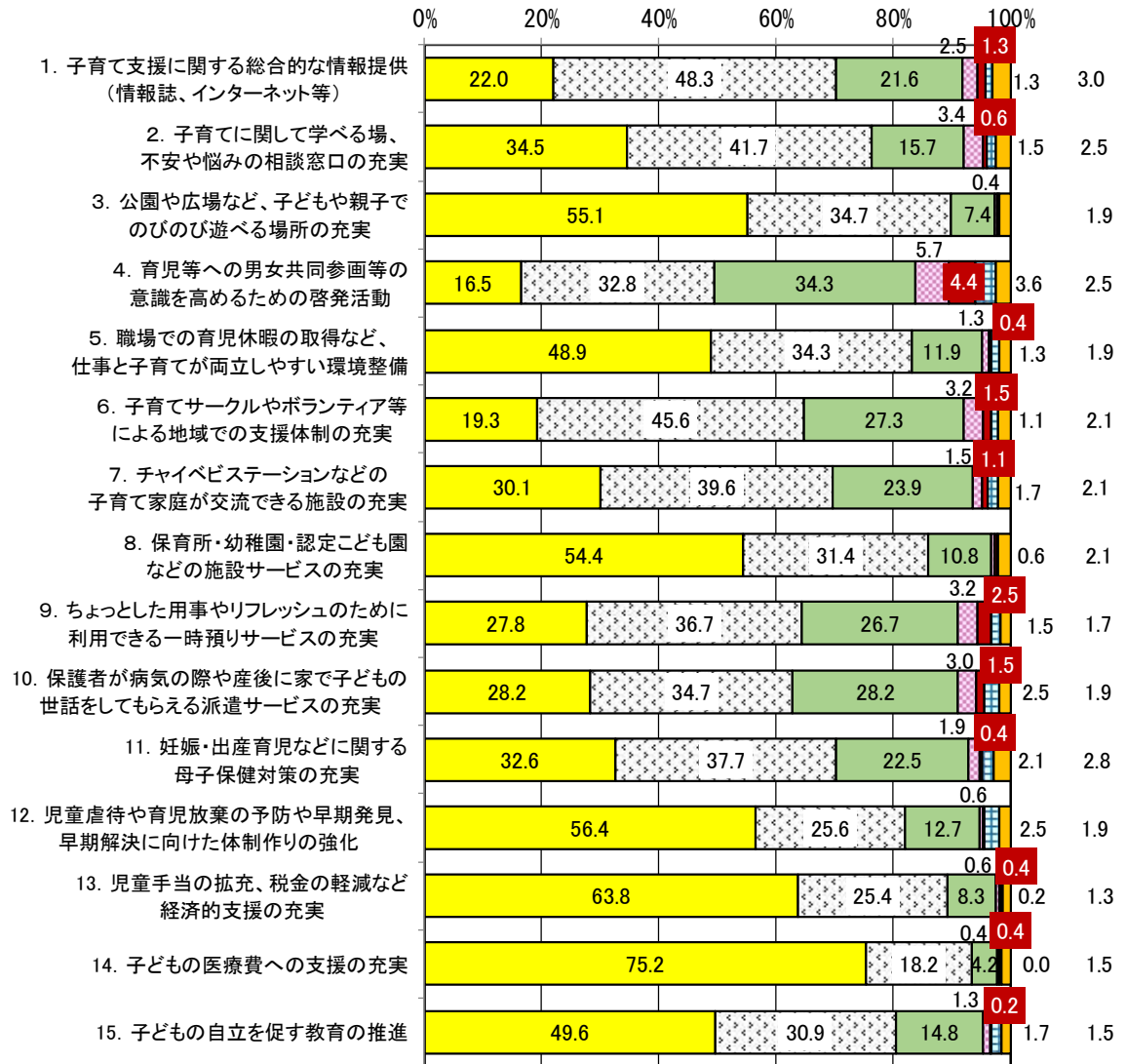
②15 項目の取組みの重要度

重要度が高かったのは、「14. 子どもの医療費への支援の充実」や「8. 保育所・幼稚園・認定こども園などの施設サービスの充実」「13. 児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」「3. 公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実」となっています。

就学前



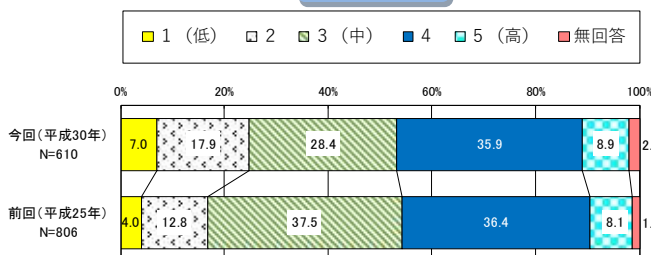
小学生



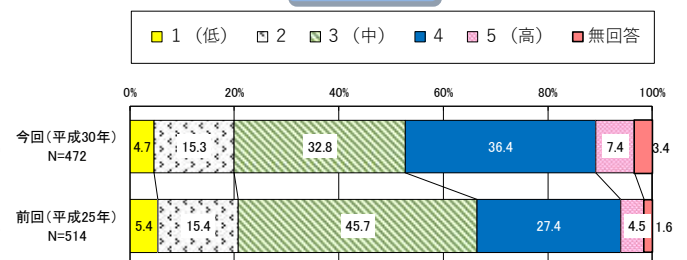
③光市の子育ての環境や支援への満足度

前回調査に比べ、就学前では4、5の割合は大きな変化はありませんでしたが、1、2の割合は高くなっています。小学生では4、5の割合が高くなっています。

就学前



小学生



④自由記入欄（主なもの）

就学前

【医療費等の助成に関すること：106 件】

- ・乳幼児の医療費助成の所得制限を撤廃してもらえると助かる
- ・子ども医療費助成を中学生まで親の収入に関係なく助成してほしい
- ・予防接種の助成をしてほしい
- ・生まれながらに病気と闘う子ども達の支援 など

【公園・遊び場に関すること：93 件】

- ・安心して子どもを遊ばせられ、親も子どもも満足できるような公園があればよい
- ・子どもを遊ばせることのできる商業施設などが光市にできたら嬉しい
- ・3歳くらいまでの小さい子向けの遊具があるとよい
- ・チャイベビ以外で土日に子どもを遊ばせられる室内の場がほしい
- ・夏に水遊びができるような公園があるとよい
- ・市内にある小さな公園のマップがほしい
- ・小さい公園などは草が生い茂っていたり、暗かったりするため、あまり遊ばせようと思わない
- ・冠山総合公園は遊具が斜面にあるので危ない など

【教育に関すること：8 件】

- ・小中学校の建物が老朽化しており、早急に改善を望む
- ・市内全ての小中学校の教室にエアコンを設置すべき
- ・中学校で不登校の児童が増えているのは問題だと思う
- ・夏休みなどの長期休みに幼児や小学生向けのイベント、勉強会などを多く開催してほしい など

【放課後児童クラブ（サンホーム）に関すること：11 件】

- ・サンホームの時間延長の見直しを（長期休みの開始時間を早めるなど）
- ・サンホームの内容を充実させてほしい
- ・月額ではなく日額で利用できるようになればよい など

【保育所等に関すること：52 件】

- ・保育料はかなり負担が大きいので、保育の無償化が実現できるとよい
- ・幼稚園が少なく、専業主婦だと子どもを預ける選択肢が少ない
- ・園開放、支援センターをもっと充実させてほしい
- ・一時預かりのサービスをもっと受けやすくしてほしい
- ・一時預かりが利用しやすい体制が子育てのしやすさにつながると思う
- ・保育士が不足している

- ・保育園に入っている保護者同士の交流があればよい など

【その他：138 件】

- ・経済的な支援があれば産みたいと思っている人は多い
- ・子連れで気軽に食事ができる場所が少ないと思う
- ・祖父母向けの子育てについての冊子があればよい
- ・出産して1年間でもよいので、オムツの支給があれば助かる
- ・光市は他市にはない取組みが多く、子どもを育てるなら安心
- ・平日仕事の親が集まり、同じ月齢の親と情報交換できる場所や機会が少ない
- ・情報発信の観点から、HPでイベントを集めたものを作ってくれとわかりやすい
- ・イベントなどのお知らせについて、広報だけではなく色々な方法で知りたい
- ・光市は出産時のママサポートタクシーの利用がエリア外だった
- ・市役所とあいぱーくが離れているので、移動も手続きも手間がかかる
- ・親が安心して子育てできるよう、子ども相談センターきゅっとの充実が更に図られるとよい
- ・産後うつアンケートの期間をもう少し長くしたらよい
- ・チャイベビをもっと柔軟に、行くとほっとできる場にしてほしい
- ・子どもを連れていけると温かく声をかけてくれる光市民の皆さんに感謝
- ・市で産後の家事やヘルパーなどを格安で利用できるような仕組みを充実させてほしい
- ・サークルやイベントに行きやすい環境になればうれしい
- ・相談すると曖昧で濁すような説明をする職員がいてがっかりした
- ・2人目、3人目を出産した人に対しての金銭的な援助、サービスが充実してくれると助かる
- ・フルタイムで働く人の子育て環境が整っていないと感じる
- ・光駅は階段が多くベビーカーも苦勞するため、なんとかしてほしい
- ・発達検査を気軽に受けられるチャンスがあるとよい
- ・2～5才以下が楽しめるイベントが沢山ほしい
- ・光市はよい意味で田舎なので、子どもがのびのびと生活できていると思う など

小学生

【医療費助成に関すること：41 件】

- ・子ども医療費は全てを無料にするのではなく、歯科分は対象外にするなど親に意識してもらうことも必要
- ・医療費無料の所得制限を高所得の人だけにしてほしい
- ・医療費は収入に関係なく小学生までの間だけでも無料になると助かる
- ・医療費への支援を増やしてほしい
- ・子ども医療費の補助が所得制限なしになると助かる など

【公園・遊び場に関すること：37 件】

- ・子どもがのびのびと遊べる昔ながらの遊具、鉄棒などがある広い公園がほしい
- ・公園などに小さな子どもでも自分で理解しやすいようなマナーの看板等があればよい
- ・光市に引っ越してきた時に公園の少なさに驚いた
- ・小さい子が安心して遊べる場所が少ない
- ・冠山総合公園の遊具は山の斜面にあり、小さい子向きではないと感じる
- ・図書館の子どもコーナーの充実を
- ・雨天、土日に利用できる施設が少ない
- ・光市にアスレチックがあれば他市からも人が来て賑やかになるのでは
- ・育児仲間が集まる場所やイベントの開催
- ・整備された安全な公園があるとうれしい など

【教育に関すること：27 件】

- ・光市は英語教育に力を入れているのでとてもよい
- ・小学校は老朽化、衛生面から建て替えを
- ・幼保小中と連携を進めていてとてもよい
- ・未来ある子どもの教育にお金をかけてほしい
- ・公教育の環境整備（トイレ、冷房設備）
- ・中学校の部活の縮小により、選択肢が狭まったように思う
- ・通学路の安全対策（車や自転車が危ない所がある）
- ・不登校の子どもが行ける場所を作ってもらいたい
- ・コミュニティスクールの取組みにより地域、学校、家庭で子ども達の成長により影響を与えていると思う
- ・コミュニティスクールは、一部の方々の負担にならず、多くの地域の方に参画頂けることを願う
- ・小中学校の全教室にエアコンを付けるべき
- ・教育、福祉が連携して子ども達の育成に関わるシステム作りを望む
- ・就学支援制度をもっと拡充してほしい など

【放課後児童クラブ（サンホーム）に関すること：21 件】

- ・小学校のサンホームのお迎え条件を広げてほしい
- ・同じ市内、学区であるにも関わらず、それぞれに独立したルールがあるので統一を
- ・サンホームの始業時間をもう少し早めてほしい
- ・長期休暇時（夏休みなど）、サンホームの開始時間を早めてほしい
- ・サンホームが日曜日や祝日も利用できるようにしてほしい
- ・サンホームの教育の質を上げてほしい など

【保育所等に関すること：10 件】

- ・ 幼保小連携の活動は続けてほしい
- ・ 第二子以降の保育料について、同時入所のみ免除というのは不公平さを感じる
- ・ 保育士への待遇を改善し、保育枠を増やしてほしい
- ・ 周辺の市町村に比べ保育園が利用しやすい点は非常に評価出来る など

【その他：80 件】

- ・ 色々なサービス体制が整っているが、それらが知られているのか疑問なので、もっとアピールしては
- ・ 乳幼児の子育て期にもヘルパーさんがいたらよいと思う
- ・ アンケート結果をもとにどう変わったのか具体的にわかるように広報などで知らせしてほしい
- ・ 夏休みにサンホームに行っていない子どもが参加出来るイベント（コミュニティセンター等で勉強会、料理教室、将棋、囲碁他）を企画してほしい
- ・ 移動図書館車が地域の公園や施設に来てくれると嬉しい
- ・ 保育園やサンホーム、保育料や医療費など子育ての環境はよい
- ・ 子育てに関しての意識は高いが、発達障がいや不登校児への支援が遅れている印象がある
- ・ 子育ての経済的支援などもっと他市町へアピールしてもよい
- ・ 子育てサークルやイベント等関係なくグループで利用できるフリースペースが増えてほしい
- ・ 中学生の乳児とのふれあい授業について、子育ての本当の苦労や喜び、親自身の成長などについても教えてあげてほしい
- ・ 他の市町村の良い所は取り入れていけばよい
- ・ 育児相談へ何度か行ったが、対応してくれる人の個人差が大きいと感じた
- ・ 病気の時に預かってくれる場所や家庭でみてくれるサービスがあるとよい
- ・ 年収ではなく子どもの状況に応じて様々な支援があるとよい
- ・ 近年、母子（父子）家庭が増加している気がするので、実質的な援助がもう少し充実するとよい
- ・ 病児をかかえる親のフォローを希望する
- ・ 病児保育施設が増えたらよい
- ・ 給食献立の充実、パン食や麺食など洋食の頻度が多いので、和食を中心とした献立にしてほしい
- ・ 地域の方がよく面倒を見てくれる など